



ぎふの木ネット協議会 メルマガ

お知らせ イベント情報
を発信します

号外

ぎふの木ネット構造フォーラム

7月12日(金)にぎふの木ネット構造フォーラムを開催いたします！
今後の法令変更や『健康と安全』な家づくりと、我々業界・ビルダーさ
まで考える課題があります。世の中が変わる前に考える大事な時期です
ので号外を発行してフォーラムの案内をさせていただきます。

ぎふの木ネット 2024
特別フォーラム
なぜこのフォーラムを開催するのか、、、
会長からの熱いメッセージです

来年4月に全会員が対処できるよう、ぎふの木ネットでは全力で皆様と
ともに進んで参ります。

7月12日(金) 構造

11月29日(金) エネルギー

更に個別でのオリジナルモデルへの対応もしっかりさせていただきます。
す。

必ず地域のビルダーさまと連携の力で大手に負けない存在感を出してい
きたいと存じます。

7月12日（金）は、そのためのキックオフでございます。

是非なるご出席をお願い申し上げます。

ぎふの木ネット協議会
特別フォーラム

来年度住宅業界大変革の波

2025年4月 省エネ基準義務
4号特例の見直し が始まります。

まずこの波を乗り越えなければ、時代の流れに大きく遅れてしまいます。
逆に大きなチャンスでもあります。

ぎふの木ネットでは、夏・秋のフォーラムに構造(4号特例見直し)、エネルギー(省エネ基準義務化)をテーマとして取り上げ、独自の対応策を発表します。

まずは…

第一弾 7/12(金) 構造

第二弾 11/29(金) エネルギー

ぜひ一緒に業界をリードして参りましょう

当日は

- ぎふの木ネット基本モデル発表
- おすすめの耐震装置
- ウォールスタットによる実演

等行います

ご参加お申込書

日時 2024年7月12日(金)
13:30~17:00(受付13:00~)

ぜひ設計担当者の方にも
ご参加をお願いします

場所 岐阜グランドホテル 西館2F「雪の間」
〒502-8567 岐阜県岐阜市長良648 ☎ 058-233-1111

基調講演：木造建築の構造性能設計のすすめ

講師 岐阜県立森林文化アカデミー
小原勝彦 教授

振動解析による性能設計や、振動測定による性能検証などを通じて、
安全・安心な住まいのヒントをお話します。



FAX送信先 058-271-3116

(ぎふの木ネット協議会事務局 伊藤宛)

参加 欠席

貴社名 _____ ご氏名 _____

メールアドレス _____

ぎふの木ネット協議会 岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3 (ヤマガタヤ産業株式会社内)
TEL: 058-271-3111 E-mail: info@gifunoki.net

ご出席・申込み用紙は下記よりダウンロードできます。

⇒ [用紙ダウンロード](#)

WEBからのお申込みは下記より
[WEB申込みフォームへ](#)

吉田会長からの
メッセージ



中小企業の
逆襲

中小企業の逆襲は可能か

日本の 労働生産性



日本の労働生産性

日本の時間当たりの労働生産性はOECD加盟38カ国中30位です。ドル換算で約52ドル、トップの 아일랜드やノルウェーに比べ約1/3で、ポーランドやポルトガルクラスで米国（9位）ドイツ（11位）に比べても大きく劣っています。

労働生産性とは従業員1人当たりの付加価値額を言い、付加価値額を従業員数で割ったものです。

つまり、労働者1人当たり約800万、労働時間当たりでいくと5,000円くらいです。

昨今の円安の影響も大きくありますが、世界の成長についていけないのが現状です。あくまで労働生産性は付加価値額ですので売上でなく粗利の部分に該当すると考えるべきで利益率が低下すれば一気に生産性も悪化します。



2 大変悔しかったこと

以前、日経新聞のコラム欄の記事を読み大変悔しい思いをしました。次のような記事でした・・・

「日本の生産性は米国の半分くらいで企業の大半を占める中小企業は6～7割が赤字で法人税も払えないまま存続している。

多くの赤字の中小企業が存続しているのは、旧ソ連の経済と同じだと言えば分かりやすい。旧ソ連では競争原理が働かずに生産性が停滞し最後

には国がつぶれてしまった。ちなみに一国の経済成長の担い手は中小企業だと言われるが、それは生産性の高い中小企業が伸びていくからで、生産性の低い中小企業が温存されていたのでは経済の新陳代謝が妨げられ成長は阻害されるばかりだ。労働生産性の低い中小企業を温存させることは人手不足問題を深刻化させることにもなる。」
ざっとこんな調子です。中小企業として大変悔しいけれど、核心をついている事も事実です。



3 中小企業の厳しい現実

	賃上げ率	労働生産性	労働分配率
中小企業	4.7%	520万	70%
大企業	5.6%	1,180万	38%

労働生産性は日本では800万位ですが、大企業と中小企業では倍の差があります。つまり粗利に相当する付加価値額に倍の格差が付いているという事です。また付加価値額に対する人件費の割合が労働分配率であり、これも2倍くらいの差があります。つまり、低効率ゆえの低利益の中で、中小企業はこの春、精いっぱい賃上げを実施したという事です。

中小企業が十分賃上げ余力のある大企業に近い賃上げを実施した理由として人手不足が挙げられます。背に腹は代えられないという点で決して持続可能でなく、今後生産性向上が無ければ賃上げによるコストアップ倒産につながりかねない状況です。

日本経済
石垣論



4 日本経済石垣論

かつて日本商工会議所の永野会頭はこんな言葉を使いました。会頭室からは皇居の濠（ほり）の石垣が見え、その石垣は巨大な石だけでなく、中ぐらいの石や小さい石が隙間なく組み合わせられ、その結果、数百年にわたり、風雪に耐え忍ぶ強さが生まれた。日本経済も同じで、大企業と中小企業の相互補完的な連携が強さの源泉だと考えました。しかし今、大企業と中小企業の格差はどんどん拡大しています。



5 中小企業は勝てるのか？

どんな大企業もルーツを遡ればスタートアップか中小企業です。かつてソフトバンクの孫正義はホンダの本田宗一郎氏も創業当時は少数の社員に向け熱い志で夢を語っていたそうです。

戦国時代では織田信長は4,000余りの兵で25,000の今川義元軍を「桶狭間の戦い」で破りました。

正面からまともにぶつかれば勝つチャンスはありませんが、綿密な作戦と精鋭集団の高い士気、地の利、条件が整えば小が大を制した事例で、同じような事例はあまたあり、それを歴史が証明しています。



6 中堅、中小・・・大企業上回る潜在力！

日本の中堅、中小企業が持つ潜在力への期待が高まっている。
「世界で戦える技術と人材を持つ中堅企業の成長力は大企業を上回るデータもある。国内336万社の中小企業が大企業にできないイノベーションを実現すれば日本は成長軌道を取り戻せる。」
・・・国はこのように考えています。ちなみに中堅企業とは社員2,000人以下と定義されていますが、ランク別の売り上げは次の様になっています

	社員	売上高	売上高利益率の推移 (2021~2023年)
中小企業		4,267 万/人	2.9% → 3.3%位
中堅企業	300~2,000人	8,253 万/人	3.8% → 7.3%位
大企業	2,000人以上	8,702 万/人	5.5% → 8.5%位

中堅企業の増収率は大企業を上回っています。



7 俊敏さで大を制す

デジタルの面でも小さな企業は大手に比べて遅れを取ると思われがちだが違う側面もある。

「経営と現場に距離がある大企業と比べ、規模が小さい分浸透が早い」ただ課題は人材であります。IT人材不足を指摘した企業が多く「経営者がデジタルの可能性を理解し自社で成功体験を積むことが大事」であります。

また「大手は個別分野の技術者は多いがまとめる人がいない。中小は社内に壁が無いから知恵を集めやすい。」

経営者が意欲と戦略を持てば、小さな企業の方が俊敏にビジネスモデルを変えられる。デジタルはその為の格好の手段となる。「歯車は小さい方が速く回る。」 中小企業に必要なのは意欲とスピードです。

2025年4月(予定)から 4号特例が変わります

省エネ基準の適合義務化に併せて
木造戸建住宅を建築する場合の建築確認手続きが見直されます

8 大きな問題には結束して当たる。・・・今そこにある危機 (4月危機)

1社では出来ない事を中小が力を合わせてパワーを結集して当たる。ぎふの木ネットの基本的な考え方です。

来年度4月より、4号特例の見直しと、省エネ基準の義務化が同時に始まります。どれだけのビルダーさんが準備を進めているか心配です。この問題をクリアしなければ時代の流れに乗れないどころか次のステップにも踏み出せません。

ぎふの木ネット構造フォーラム 申込書

2025年4月 省エネ基準義務
4号特例の見直し が始まります。

まずこの波を乗り越えなければ、時代の流れに大きく遅れてしまいます。
逆に大きなチャンスでもあります。

ぎふの木ネットでは、夏・秋のフォーラムに構造(4号特例見直し)、エネルギー(省エネ基準義務化)をテーマとして取り上げ、独自の対応策を発表します。

まずは…

第一弾 7/12(金) 構造

第二弾 11/29(金) エネルギー

ぜひ一緒に業界をリードして参りましょう

当日は

- ぎふの木ネット基本モデル発表
- おすすめの耐震装置
- ウォールスタートによる実演

等行います

ご参加お申込書

日時 2024年7月12日(金)
13:30~17:00(受付13:00~)

ぜひ設計担当者の方にもご参加をお願いします

場所 岐阜グランドホテル 西館2F「雪の間」
〒502-8567 岐阜県岐阜市長良648 ☎ 058-233-1111

基調講演：木造建築の構造性能設計のすすめ

講師

岐阜県立森林文化アカデミー
小原勝彦 教授

振動解析による性能設計や、振動測定による性能検証などを通じて、安全・安心な住まいのヒントをお話します。



FAX送信先 058-271-3116

(ぎふの木ネット協議会 事務局 伊藤宛)

参加

欠席

貴社名

ご氏名

メールアドレス



ぎふの木ネット協議会

岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3 (ヤマガタヤ産業株式会社内)
TEL: 058-271-3111 E-mail: info@gifunoki.net

ご出席・申込み用紙は下記よりダウンロードできます。

⇒ [用紙ダウンロード](#)

WEBからのお申込みは下記より
[WEB申込みフォームへ](#)



正しく表示されない場合は[こちら](#)

このメールは、ぎふの木ネットからのメール配信をご希望された方に送信しております。今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから [配信停止手続きが行えます](#)。

本メールは yamagataya_s_info@ymg-s.co.jp より 8@hachi-p.co.jp 宛に送信しております。

みやまち ヤマガタヤ産業内、羽島郡岐南町、岐阜県 501-6019, Japan

✓認証 購読停止 [配信停止](#) | [登録情報更新](#)

